# 事 前 評 価 個 表

整理番号 2

事業名	民有林補助治山事業 (復旧治山)	都道府県名	滋賀県
地区名	上野 (伊吹山) (うえの (いぶきやま) )	計画期間	令和7年度~令和16年度(10年間)
市町村名	米原市 (まいばらし)	実施主体	滋賀県
事業の概要・	高とさ で頂チはい、す。回、リ山し実床最のま けけを実 腹窓 で頂チはい、す。回、リ山し実床最のま けけを実 腹窓 にで頂チはい、す。回、リ山し実床最のま けけを実 腹窓 にで頂チはい、す。回、リ山し実床最のま けけを実 しま か に て 日置た 3 は ガ 勝達に 渓 (後、 受 お 策の と ま 楽 曹 に で 頂チはい、す。回、リ山し実床最のま けけを実 腹窓 に で 頂チはい、す。回、リ山し実床最のま けけを実 腹窓 に で 頂チはい、す。回、リ山し実床最のま けけを実 腹窓 に で 頂チはい に で 頂 が に で 面 が に に で 面 が に で 面 が に で 面 が に に で 面 が に に で 面 が に に で 面 が に に で 面 が に に で 面 が に に で 面 が に に で 面 が に に で 面 が に に で 面 が に に で 面 が に に で 面 が に に で 面 が に に で 面 が に に で 面 が に で 面 が に で 面 が に で 面 が に で 面 が に に で 面 が に に で 面 が に で 面 が に で 面 が に で 面 が に で 面 が に で 面 が に で 面 が	ででおり、 ででおり、 ででおり、 でのでおり、 でのでおり、 でのでおり、 でのでおり、 でのでおり、 でのでおり、 でののた学程に地に では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ド計測データを差分解析した結果、既存の よられ、3合目~8合目では幅2~5m、 リ浸食が確認された。 りがさらに流出し再度集落に流入すること 度重なる被災を受け不安が極度に高まって 別に治山事業を実施するよう要望も受けて 長面の保全、勝山谷川における荒廃した渓 7年度から復旧治山事業を実施するもので 生物多様性の保全にも十分に配慮した計
費用便益分析		2,782,751 千円	
	総 費 用(C)	958, 348 千円	
	分析結果(B/C)	2.90	

#### 評価結果

・必要性: 降雨により発生した地表水が渓流部に集中し、対策を行わないと土 砂流出が懸念されるとともに、地元から事業の早期着手について要望

されていることから、事業の必要性が認められる。

・効率性:計画に当たっては、調査結果等に基づき現地に応じた最も効果的かつ

効率的な工種・工法を検討していることから、事業の効率性が認めら

れる。

・有効性:事業の実施により、人家や道路等の保全が図られることから、事業の

有効性が認められる。

新規地区採択に当たっての審査事項(チェックリスト)、費用便益分析および 各観点からの評価を踏まえて、総合的かつ客観的に検討したところ、適切な計画 内容であることから、事業採択することが妥当と認められる。

## 便 益 集 計 表

(治山事業)

事 業 名 : 復旧治山事業 都道府県名: 滋賀県

施行箇所: 米原市上野(伊吹山) (単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備考
水源涵養便益	洪水防止便益	209,115	
	流域貯水便益	17,065	
	水質浄化便益	70,645	
環境保全便益	炭素固定便益	3,288	
	生物多様性保全便益	463,398	
災害防止便益	山地災害防止便益	2,019,240	
総 便 益 (B)		2,782,751	
総費用(C)		958,348	
費用便益比 B÷C= 2,782,751 = 2.90			

### 参考

費用便益比	$B \div C = \frac{4,780,407}{} = 4.49$
(i=0. 02)	1,065,033
費用便益比	$B \div C = \frac{6,520,436}{} = 5.79$
(i=0. 01)	1,125,858

### 評価箇所概要図

整理番号 2

滋賀県

